

「ズーノーシス」という言葉を聞いたことがありますか？ 直訳すると、「人獣共通感染症」。聞き慣れない言葉ですが、「人も動物も共通してかかる病気」を総称したものです。毎年、予防注射を接種する「狂犬病」も、特に注意したいズーノーシスの一つです。

日本における狂犬病は、国による徹底した予防政策の効果から、半世紀ほど発生が確認されていません。しかし、世界に目を向けてみると、日本やイギリスなどの一部の国を除き、毎年発生が確認されています。

狂犬病の怖いところは、発症後の死亡率の高さです。人も犬も発症すると、ほぼ100



112

「ズーノーシス」とは？

%が死に至ります。さらに、狂犬病という名前から犬以外は安心だと思われるかもしれませんが、猫やウサギなど、「すべての哺乳類」に感染の可能性があるのです。

狂犬病以外にも、身近なズーノーシスとして注意が必要なのは、「犬猫回虫症」です。犬や猫のおなかに寄生している回虫は、便から排出されます。感染した犬や猫が砂場に便をした場合、砂を触った手をしっかり洗わないと、口などに入って感染する危険があります。感染後は、発熱やせきといった風邪のような症状が出ることもあれば、視

力障害などの眼科疾患を引き起こす場合もあります。感染予防にはしっかり手洗いすることが重要です。

一方、動物の予防医療も年々進歩しており、狂犬病や犬猫回虫症には、感染を予防するためのワクチンや駆虫薬があります。回数と用量を守って投与すれば、身近なズーノーシスから動物を守り、飼い主ら人間への感染も防げます。お近くの動物病院で、ズーノーシスへの対処法を尋ねることが、予防の第一歩になりますよ。

(アニコム損害保険
獣医師 杉浦弘明)